

- 1 … 彩の国カップ決勝・天皇杯1回戦
彩の国スポーツ功労賞
- 2 … 県内女子サッカーの指導現場より
～各カテゴリーのチームの現状～
- 5 … 第2回運営会議開催 他
- 6 … 国体関東ブロック大会開催
- 8 … 大会記録
- 16 … インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和 1-21-18雁ヶ音ビル204号室
Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/ (年間購読料 1500円)

埼玉県代表として、平成国際大学が初出場

～平成23年度彩の国カップ 第16回埼玉県サッカー選手権大会～

8月28日、熊谷スポーツ文化陸上競技場において、埼玉県内アマチュア No. 1 を決定する彩の国カップの決勝戦が開催された。昨年に続き、大学生チーム同士の対決となった決勝は、創部11年目で初出場を狙う平成国際大学と3度目の出場を目指す尚美学園大学との対戦となった。

42分、小野のゴールで平成国際大学が先制すると、さらに前半のロスタイムに義村がPKを決めて、2対0と平成国際大学がリードして前半を折り返した。後半9分に、佐々木の得点で尚美学園大学も詰め寄るが、同点にできぬまま、タイムアップ。平成国際大学がしっかりと逃げ切り、天皇杯への初出場を決めた。

すでに天皇杯1回戦は終了しており、茨城県代表の筑波大学に一度は追いつきながらも、逆転を許し、残念ながら敗退した。

〈彩の国カップ・決勝〉

8月28日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

平成国際大学 2-1 尚美学園大学

得点者：小野(42分) 得点者：佐々木(54分)
義村(45分+)

〈天皇杯〉

9月4日 ひたちなか市陸上競技場

筑波大学 2-1 平成国際大学

得点者：小野(25分)



彩の国カップ初優勝の平成国際大学

天皇杯1回戦 平成国際大学 vs 筑波大学

なでしこジャパンメンバー、彩の国スポーツ功労賞を受賞

～祝！ なでしこジャパン、FIFA女子ワールドカップ優勝～

なでしこジャパンが、ドイツで開催されたFIFA女子ワールドカップにおいて、見事な優勝を成し遂げました。

そこで、本県在住の佐々木則夫監督、浦和レッズレディース所属の山郷のぞみ選手、矢野喬子選手、6月まで所属していた熊谷紗希選手(1.FFC フランクフルト所属)、武蔵丘短大出身の上尾野辺めぐみ選手(アルビレックス新潟レディース)の5名に対して「彩の国スポーツ功労賞」が授与されました。7月22日、埼玉県庁においてその授賞式があり、山郷、矢野、熊谷の3選手が出席し、上田清司埼玉県知事から激励を受けました。

なお、なでしこジャパンは、8月18日にも国民栄誉賞を受賞しました。日本国内で女子サッカーが注目されています。本県でも女子サッカーが、益々発展することを期待しています。



県内女子サッカーの指導現場より ～各カテゴリーのチームの現状～

なでしこジャパンのFIFA女子ワールドカップ優勝に伴い、女子サッカーが脚光を浴びている。トップチームの活躍は、普及・育成に大きな影響を与えてくれるだろう。そして、さらなる飛躍につながるはずだ。その飛躍を期待する上でも、現状を理解しておくことが必要ではないだろうか。現在の女子サッカー関係者だけでなく、県内のサッカー関係者がどのように女子サッカーに関わっていけばいいのか。また、県民の皆さんにはどう理解していただければいいのか。一つ一つのステップをしっかりと踏むためにも、各現場の声に耳を傾けたい。

●武蔵丘短期大学 河合一武監督

「女子サッカーに良いイメージを」

現状として、埼玉の高校からの選手は、本学チーム内でのポジション争いに苦労しています。レギュラーの多くが九州、東北、静岡から来ている選手たちです。東京の高校からは「地方へ下る」というイメージがあるのか、なかなか来てもうえません。また本人も親御さんも四年制大学への志向が強く、我々のような短大に来てくれないのも現実としてあります。それでも、徹底して繋ぐサッカーにこだわり、アーセナルへの遠征もあり、早くから天然芝のグラウンドという環境の良さで選手が集まってくれて、関東大学女子リーグなどで上位に繋がっているところです。ただ、少しでも手をあげれば、すぐにも2部に落ちてしまうでしょう。



河合一武監督

短大ですから、2年間しかありません。毎年メンバーの半分は入れ替わりますから、一年一年が勝負です。それも春先から秋にかけてのシーズンですから、実質半年強での勝負なのです。私としては、楽しくサッカーをすること、上下関係を無くすこと、細かく規制はしないこと、それで繋ぐサッカーをしようと心がけています。また、1月初旬から3月初旬にかけてオフとしています。2ヵ月間もオフにすることに子どもたちは驚いていますが、旅行、アルバイト、運転免許取得など大学生活も楽しんでもらいたいと思っています。

さて、JFAの女子委員会のメンバーだったこともあり、競技人口増は大きな課題として捉えています。やはり策としては、小学生年代の競技者数を増やし、そこからU-15にどう繋げるのかです。そこである程度の人数になったときに、どう埼玉に子ども

たちを留めるのかを考えるしかないと思っています。また、そのときに多くの熱意ある指導者がいてほしいと願っているところです。

少し前に、JFAからU-15のクラブ創設に補助金が出ていましたが、その補助金が無くなったチームも無くなったという話もあります。中学校で女子サッカーの部活をと言われますが、前例として男子では、1年生は球拾いをするだけで終わるからとクラブチームへと選手が流れたのです。部活を作るというのは、それに逆行することになるという矛盾も抱えています。

FIFAは、男子登録の10%を女子の目標登録者数としています。日本で言えば、今、2万8千人程度の登録者を8万人にするということです。

今回のなでしこジャパンの活躍は、日本の女性を元気にしました。本当に女性がテレビを見て、注目しています。ですから、女性、それもお母さんに、女子サッカーに対する良いイメージを与えられれば、子どもにサッカーをやらせるのではないのでしょうか。

●埼玉平成高校 種延 晃監督(埼玉県高体連サッカー専門部女子部委員長)

中学校の「運動部離れ」を危惧。高校も環境整備を

一過性のなでしこブームに留まらぬよう、高校女子サッカーも一層の普及・発展、そして強化を進めたいと考えています。

登録チームも30チームとなり、チーム数、選手数共に東京都に次いで全国2位と普及活動にはある一定の評価が得られるものと思っていますが、現在も50チームを目標に取り組んでいるところです。ただ現実としては、グラウンドがない、指導者がいないという理由から、登録数増はな



種延 晃監督

かなか難しい状況にあります。

その一方で、中学生が「運動部離れ」しており、これをどう食い止めるかが課題となっています。子どもたちにスポーツをする喜びや楽しさを知ってもらうこと、その動機付けが難しいところです。また、小学生でサッカーをしていても中学に上がる際、他種目へ移行したり、高校進学の際、他県高校チームへ流れていくという現象も課題の一つです。さらに、これまで高校女子部としてサッカーの普及に努めてきましたが、結果的には選手が分散し、なかなか単独チームとして全国に出て行く事が難しくなっていると言えます。そういう中で、小学生でサッカーを始め、中学校で続けて県内の高校でプレーしている子どもは、ある意味奇跡であり、宝でもありますので大切に育てたいと思っています。

高校女子部としては、各種大会を



武蔵丘短期大学 vs 浦和レッズレディースジュニアユース

浦和レッズレディースジュニアユース、4連覇！

～全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会～

どれだけゲームに近いトレーニングができるか



下山 薫監督

浦和レッズレディースジュニアユースが、前人未踏の記録を打ち立てた。同大会において、4連覇を果たした。下山薫監督に大会を振り返っていただき、さらに埼玉の女子サッカーへの提言もいただいた。

「コーチとして2年、今年からチームの監督となりました。これまで中1から高3までを一つのチームとして『レディースジュニアユース』とし、学年に関係なく大会にエントリーしてきました。それを今年から、中1と中2をジュニアユースとし、中3以上をユースとしました。これまでもU-15の担当でしたが、全体は神戸さん(慎太郎氏・ユース監督)が見ていたものですから、今年からは一からのスタートとなりました。

中1は入ってきたばかりで、中2は年上とプレーが少ない子たちでした。どうしても個々の判断が足りず、ゲームでの指示もない。これは経験そのものが少ないからでした。正直、大変だと思いました。とはいえ、基本はトレーニングです。心がけたのは、どれだけゲームに近いトレーニングができるかということです。その中で判断材料を増やして、ゲームの中で判断できるようにしました。また11人全体ではなく、部分的に切り取って説明するなどの工夫をしたのです。子どもたちは技術的に高いですから、観る時間はあるのです。しかしセオリーがないので、チームに自分のプレーをどう合わせていくかという能力が足りません。ですから、ゲームによって波があるのですが、これは見守ることや続けるしかないのかなと思っています。

さて、この大会に向けて子どもたち

は、優勝を意識して目標としていました。それも埼玉で1位となり、関東で1位になって全国に挑むつもりでしたが、県大会の決勝はPKで負けてしまいました。これが全体的なターニングポイントだったと思います。“当たり前”が崩れたのですから。ここで再スタートを切れたことがよかったのだと思います。

全国大会は5日連続ということもあり、予選リーグの3試合では、1年生を多く起用し入れ替えもしたので、なかなか平坦ではありませんでした。全体的に見て、大差のつく試合も無くなり、差は縮まっています。その中で予選リーグは3勝できず、2勝1分で決勝トーナメントに進出しました。一つひとつ、クリアしながら3試合を戦ったような気がしますし、チーム全体で優勝できたことで、結果以上にいい大会となりました。しかし、優勝したと言っても課題は多く、継続して取組まなければならないので、一段落したという感じでしょうか。

県内を見るに、単純にサッカーをやりたいという女の子は増えていていると思います。ただ、気軽にできる環境にないというのが現状です。あとは指導者が、子どもたちが伸びる時期にいい指導をしているのか、いい環境を与えているのか。どうでしょうか。U-15年代はリーグ戦も盛んでレベルが上がってきています。やはりゲーム経験は大きいなと思っているところです。あとは中学を卒業するとき、県内に残ってくればいいなと思います。県外に出て行く子が多いですね。これは関わる大人次第のような気がしています」

※結果は15ページ参照



写真提供 / 浦和レッズ

通じて施設利用などで大学関係者の協力を得てきています。また大会を高校のグラウンドで開催することでクラブチームとの交流も行っています。トレセンやフェスティバルなどを開催し、中学生年代へのアプローチも継続していますし、審判資格取得も促しています。

また、女子部も全国高体連に加盟したことにより、来年度から高校総体種目への正式参加が認められました。これにより、年間スケジュールが男子同様と大きく変更されます。様々なことが「作り直し」「大きな変革期」の時期にきており、高校内はもちろん、種別を超えた指導者間のベクトル合わせが急務だと考えています。

今、女子もサッカー環境が重視されています。人工芝グラウンドなど限りなく男子の環境に近づく努力も必要でしょう。ただ、石ころを拾いながらでも練習しながら、感謝や思いやりを忘れないでほしいという高等学校としての教育も必要だと思っています。難しいことではありますが、やはり各高校で、より魅力のあるチーム作り、選手育成が求められていると思うのです。



埼玉平成高校 vs 浦和西高校

●さいたま市立原山中学校女子サッカー部 長谷川百合矢監督 女子サッカー部を立ち上げて3年。 「部活に魅力を感じる」

大学（日本女子体育大学）に入ってからサッカーを4年間やっていました。当時は先輩にシリーガーもいましたが、初心者でも入れる雰囲気もあり、楽しそうだなと思って始めました。

最初の赴任中学では、サッカー部に顧問がいらっしゃったので男子バスケットの顧問をしていました。ここ原山中に来て5年目になります。1年目、当時顧問だった斎藤由雄先生（現、田島中）に許可をいただき、女子の部員を募集したところ2名が入ってくれました。地域的に、サッカーをしたいという女子の需要はもともとあったようです。2年目に6人入り、3年目で14人入ったところで、男女合わせて部員が80人以上となったものですから、その年のGW明けに「女子サッカー部」として認めていただきました。

ほとんどの子どもが、初心者です。ボールを蹴ることができない状態から始めます。男女が別れる前は、一緒に練習していました。4月当初は同じメニューをこなすことは難しかったのですが、基本的に同じメニューで練習していました。

正直、子どもたちを見て、よくこんな厳しい部活に入ってくるなと思いましたが（苦笑）、人間関係というか雰囲気がとてもいいですね。特に最初の二人については、男子の先輩たちが優しくかったです。「女だから」と排除することなく、リフティングやパスを教えてくれていました。今も、当時の部員が練習の手伝いをしてくれたり、紅白戦に参加してくれたりしています。あとは、仮入部が楽しかったんだと思いますね。

あとは熱心な父兄の方々、同僚の先生方の協力ありがたいですね。同じグラウンドを使っている他の顧問の先生から「今日はどうぞ」と言ってもらうと、高校、戸木南さんや浦和ラッキーズさんとかが試合をしに来てくれたりします。またピプスも授業で使わなくなったものを譲っていただいたりしました。

立ち上げの頃の苦労としては、審判でしょうか。帯同してくれる4級審判がいなくて、最初の年はお金を払って審判をしていただきました。翌年から保護者の方に4級審判を取っていただき、子どもたちにも資格を取ってもらうようにしました。中学でチームを新たに立ち上げる場合、ユニフォームなどの備品の購入にもお金がかかりますが、審判をお願いできる方いるかいないかが大変かもしれません。

確かに、地域のクラブでサッカーをするというのいいと思いますが、個人的には「部活」に魅力を感じています。練習で怒っ



長谷川百合矢監督

ても、別の時間で人間関係を作ることができますし、一緒に遊ぶこともできます。

今後、異動もあることから、このまま女子サッカー部を継続できるかという問題もありますが、皆さんに理解していただけるよう、努力していきたいと思っています。

●戸木南ボンバーズ FC 田中治夫代表 U-15もスタートさせた、県内強豪少女チーム

1993年に戸田コスモス（後の戸田ガールズ）・上木崎サッカー（旧浦和市）・鳩南サッカー（鳩ヶ谷市）から一文字ずつ採って、少女のチームとして戸木南（ときなん）ボンバーズを結成しました。2008年にU-15のチームも立ち上げ、大人の大会にも参加するようになりました。そのほとんどが、もともとうちにいたOGたちであり、戻ってきてくれたという感じです。団員は30名から60名近くまで多くなりました。U-12とU-15と分けてはいますが、週に一度、金曜日には一緒に練習していますし、U-14リーグには、小5、小6も参加できるので、高学年になるとU-15の練習に参加する子どももいます。選手層は厚くなりましたね。



田中治夫代表

U-12は、9年連続で「ガールズエイト」（JFA 関東ガールズエイト（U-12）サッカー大会）に出場しています。年を追う毎に、県内のチーム力は上がっており、ベスト8になると僅差だと言えます。県南が中心ですが、和光、浦和、東大宮を中心に、白岡も力をつけてきています。この「なでしこ」効果で5人も入ってくれました。

毎年、ガールズエイトでは優勝候補に挙げていただき、うれしく思っています。ただそれは先輩たちが築き上げてきたものであり、逆に言えばプレッシャーは大変です。負けると「どうしたの?」と聞かれますが、当然ながら負けもします（笑）。

強さの秘密ではないのですが、できるだけ男の子のチームと練習試合を組むようにしています。やはり当たりの強さ、寄せの速さなどはレベルが高いですから、そういうことを経験させるようにしています。なでしこリーグに9人、U-16とU-13の日本代表候補に2人ずつ出しており、そういうOGがときどき練習に来てくれるのも、励みになっているようです。4種リーグへの出場ですか？ 日程が合えばいいのですが、これまで呼んでいただいているフェスティバルなどを断るわけにもいかず、もう少し子どもが多くなれば、考えたいと思います。

U-15は一般の試合にも出ています。県女子リーグの1部にいますが、なかなか勝てません。今後、このまま戸木南に残ってもらおうのではなく、高校に入ったら高校の部活に入ってもらおうと思っています。そして卒業したら選手として指導者として戻ってきてもらえるようにしたいと考えています。

県内でも遠方での大会が多く、車での移動や審判が問題です。保護者に当番制をお願いしていませんから、指導者と熱心な父兄の協力があるとのこと。やはり立ち上げは大変です。助成金があるとうれしいですね。

あと、個人的に思うのは、県内でサッカー部のある高校の施設の改善でしょうか。子どもたちの多くが都内の、人工芝グラウンドのある高校へと進学していきます。子どもたちは学校訪問していますし、もう泥だらけになってサッカーをする時代ではないということです。私も含めて、意識を変えないといけないのではないのでしょうか。あとは女子指導者と女性審判が多く出てくれることを期待しています。もう女子サッカーに関わっただけで25年になります。代表や監督をしています、いつでも女性に譲る気です（笑）。



原山中学校女子サッカー部



戸木南ボンバズ

浦和レッズレディースジュニアユースも含めて、様々な角度から女子サッカーの現状を教えていただき、ご意見を伺った。現状の改善が求められるが、同時に今以上に地域での連携も行っていかなければならないのではないと思う。特にカテゴリーを超えた連携が急務ではないだろうか。需要はある。あとは供給できるかどうか。指導者、グラウンド、さらには保護者を始めとする「大人」がどう関わっていくのか……。

その中でも、中学生年代をどう活性していけばいいのか。この年代の育成が強化に直結することは言うまでもない。男子もその課題は変わらないが、「子どもたち」というくくりの中で、どうすることが一番いいのかを話し合わなければならないのではない。これら以外にもご意見はあると思う。SFAとしては、関係各所と話し合いをしながら、善処していかなければならない。

●平成23年度市町協合理事長会議開催

7月16日、ラフレさいたまにおいて「市町協合理事長会議」が開催されました。ご多忙の中、23名の出席をいただき、ありがとうございました。主に、現在進行中のSFAビジョン推進のための確認が行われました。会議後には懇親会もあり、市町協会とSFAの協力体制がまた一歩進んだように思われました。

●第2回運営会議開催

8月27日、カルタスホールにおいて、第2回目となる運営会議が開催されました。各専門委員会からの現状報告とSFAビジョンの進捗状況が説明されました。各種別委員会からは大会結果報告がなされました。

1、SFA表彰規定について

各種別、地域から推薦をお願いします。

2、市町FA理事長会議報告

3、公益財団法人移行について

10月末に提出予定の定款を作成中です。

4、各専門委員会・種別委員会からの報告（抜粋）

・坂庭技術委員長より（抜粋）

「高校はU-17、中学はU-14のときに強化しなければ、レベルアップができないと思います。ここで強化しなければ、大学、社会人にも繋がっていかないと思うのです。埼玉は悪くないが、よくもなっていないと思います。あと、埼玉は点を取る選手が少ないように感じます。小学生の段階で勝つためにMF、DFに下げてしまっているような気がします。



関東技術委員長会議の中でも『JFA訪問会議で話をしたことは鵜呑みにしないで下さい』と言われ、何が正しいのか分かりません。技術委員会がごたごたするかもしれませんが、上からの情報なのでご理解下さい」

・西川科学委員長より（抜粋）

「育成、発育、発達をキーワードに取り組みます。1つ目は中学生年代が夏で引退し、活動がなくなると、どのくらい能力が落ちるのか？ 週1回のトレーニングではどうなるのか？ という事については具体的に分かっていないのが現状です。引退の時点での測定と受験期の測定を行います。これは高校から大学、小学校から中学校へ進む際も同じことが予想されます。また、リーグ戦化にも示唆を得られるかと思っております。

2つ目は食育です。今までは4種、キッズ年代を対象としていましたが、これを中学生年代、高校生年代のトップレベル選手にアンケートを行い、食育指導とフィードバックを行います。また、各地域で講習会を開催していきたいとも考えておりますので、各種別委員長にはご要望があればお願いいたします」

【決定事項】

・表彰規定に沿って該当者がいれば推薦していただく。

・フェアプレーについて話す機会（監督会議など）があれば、フェアプレー・規律委員長が出向くので、その日程を事務局へ連絡すること。（※ 前回に引き続き）

・東松山市にあるSFA専用人工芝グラウンドの名称を「埼玉県サッカー協会東松山サッカー場」に変更。

・東松山サッカー場利用のルール・マナーの徹底を使用する各所へ連絡する。

・各連盟で行事がある場合、広報委員会へ情報を提供する。

●県自治体連盟より

「このたびの震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

全国自治体連盟では、今年度の全国自治体大会の中止を決定しております。東北の自治体では、依然復旧作業を行っており、住民の安全を守るべく業務に就いております。私たちの仲間である各自治体のサッカー部の面々も、ボランティアを含めた多様な形で現地に入り、活動しております。

1日も早い復興と、仲間たちが安心して楽しくサッカーができることを祈っております」

（県自治体連盟理事長・吉原尊男）

少年男子の健闘を祈る

～第66回国民体育大会「おいでませ!山口国体」関東ブロック大会開催～

8月18日から22日まで、茨城県内各地において、国体関東ブロック大会が開催されました。選手、関係者の皆さん、お疲れ様でした。結果的に、今年は少年男子が本大会への出場を果たしました。1回戦(10月2日)は青森県と対戦することになりました。

【成年男子】

●関東ブロック大会

8月20日 ひたちなか市陸上競技場

1回戦 千葉県 3-0 埼玉県



埼玉県成年男子チーム



1回戦 埼玉県 vs 千葉県

菊原伸郎 成年男子監督

ここ数年、彩の国カップの戦績を見ても、大学勢が上位を占め代表になっている現状を受け、本年度国体成年男子は大学生中心のメンバーで戦いました。私は一昨年までの3年間、埼玉県大学選抜を指揮していたことから、本チームの監督を引き受けさせていただきました。

選手選考においては、次の3つの基準を設けました。

- 1) 国体成年男子サッカーチームのメンバーに入れる資格を要する選手
- 2) チームにおけるユーティリティーを担える選手
- 3) 若手有望選手

国体成年選手には、少年と異なる条件が設定されていたので、その条件を充たす県大学所属選手を中心にチームを構成しました。その中で一人、高校生を入れました。私は高校時代の3年間、国体少年のメンバーに選ばれていい経験ができたものですから、県の高校生に対し一つの道(ステージアップ)を示せたのではないかと考えております。

関東ブロック大会の試合に向けてですが、チームの雰囲気は非常に良かったです。しかしながら、試合に向けてのコンディショニングづくりがうまく計画できず、彼ら本来のパフォーマンスを出せられなかったのは、私の責任です。今回参加してくれた選手たちは、この経験を生かし、必ずステップアップしていくと思っています。

現在の埼玉県1種の現状で国体を勝ち上げるためには、JFL、もしくは関東大学リーグの1部を目指す大学に任せるか、それとも県の総力を挙げて本当の選抜チームを作るかのどちらかだと思います。または、若いプロ経験者との混成も県1種のレベルアップにつながる事が期待できます。ただ単独チームで行くにし



菊原伸郎氏

ても、他のチームからストライカー、ゲームメーカーは積極的に補強しなければならないというのが、現状ではないでしょうか。最後に、応援していただき、ありがとうございました。

成年男子 関東ブロック大会

監督	菊原 伸郎	埼玉大学
1 GK	富井 大樹	東京国際大学
2 DF	山崎 健吾	埼玉大学
3 DF	市瀬 勇樹	東京国際大学
4 MF	田代 雅人	東京国際大学
5 DF	酒井 大登	平成国際大学
6 MF	小野 宏太	平成国際大学
7 FW	増田 匠海	獨協大学
8 MF	小森慶太郎	城西大学
9 FW	福島 遼	東京国際大学
10 MF	新井 瑞規	城西大学
11 FW	川上 翔太	尚美学園大学
12 FW	柏俣 拓也	平成国際大学
13 MF	佐瀬 裕大	埼玉大学
14 MF	内田 航平	正智深谷高校
15 DF	須永 俊輔	立正大学

【女子】

●関東ブロック大会

8月20日 セキショウ・チャレンジスタジアム

1回戦 埼玉県 1-3 山梨県

得点者: 佐々木(46分)

河合一武 女子監督

予選は軽く抜けられるだろうとちょっと油断をしていましたが、山梨のメンバーを見て警戒心を持つようになりました。というのは、山梨は日本航空高校のOGチームで、日本航空高校の監督さんが指揮を執っていました。その多くが気心の知れたメンバーで、監督の考えを理解していることがわかったからです。ただ直前の合宿では、男子と練習試合を行い、手応えを感じていました。しかし、前日練習は嵐で練習ができぬまま、当日を迎えることになりました。山梨は時間がずれていたため、少しは練習できたようでしたが、埼玉はやや深めの人工芝を経験することができなかったのです。

試合は、1点先制されるも同点としましたが、その後GKとの1対1の場面を2~3回外してしまい、そのうちに2点目、さらにダメ押しと3失点してしまいました。山梨は、ボールを取ったらすぐに裏へ蹴るサッカーをしてきたものですから、残念ながら、根負けをしてパスをしっかりと繋ぎきれず自分たちのサッカーを出せずに終わってしまいました。メンバーは基本的に武蔵丘短期大学の選手で、ウィークポイントであるセンターバックと左サイドを補強して臨みましたが、主軸の選手が大会1週間前に捻挫してしまったことでサイドからの起点が作れないという状況でもありました。終わってみて感じたのは、関東では山梨が一番強かったということでしょうか。

昨年から国体は、大学を中心としたチーム編成になりました。現状では、どこの大学が中心になっても、そこに補強選手を数人入れるやり方は悪くないと思っています。選抜チームというよりも、ある程度監督が目の届く選手を中心において、チームを作っていくほうがいいのではないのでしょうか。

最後に、応援していただいた皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

女子 関東ブロック大会

監督	河合 一武	武蔵丘短期大学
1 GK	嶋田 萌	武蔵丘短期大学
2 DF	関根亜吏沙	武蔵丘短期大学
3 DF	斉藤 夏美	武蔵丘短期大学
4 DF	黒濱佳奈子	武蔵丘短期大学
5 DF	宇地原奈央	武蔵丘短期大学
6 DF	中村 美希	武蔵丘短期大学
7 MF	佐々木 蘭	武蔵丘短期大学
8 MF	阪口 萌乃	武蔵丘短期大学
9 FW	田中 唯	武蔵丘短期大学
10 DF	長嶋 洸	浦和レッズレディースユース
11 FW	下條 彩	武蔵丘短期大学
12 DF	米山 涼美	武蔵丘短期大学
13 DF	大谷絵里奈	武蔵丘短期大学
14 MF	高橋 花歩	尚美学園大学
15 GK/MF	斎田 由貴	武蔵丘短期大学

【少年男子】

●関東ブロック大会

8月18日・19日 ひたちなか市陸上競技場他

1回戦 茨城県 1-2 埼玉県
得点者: 進(49分、59分)

決定戦 神奈川県 0-3 埼玉県
得点者: 関根(32分)、広瀬(38分)、進(49分)



埼玉県少年男子チーム



1回戦 埼玉県 vs 茨城県



決定戦 埼玉県 vs 神奈川県

名取 篤 少年男子監督

本大会に出場することになりました。まずは関係者の皆さんにお礼を申し上げます。予備予選である関東トレセンリーグではグループ4位となり、本大会出場にはこの関東ブロック大会で、2勝しなければなりません。初戦は茨城に勝ち、決定戦では神奈川に3-0と勝利し、本大会への出場となりました。



名取 篤氏

関東ブロック大会を突破するには、いくつかのラッキーがありました。4月に遡りますが、関東トレセンリーグの初戦、神奈川と対戦し、この試合では4-1で負けてしまいました。あまりにも不甲斐ない内容だったので「関ブロではやるぞ」と気合いを入れたほどでした。そこで選手たちの目の色が変わり、実際、決定戦では何も言わなくても選手たちは最初から激しいプレッシャーをかけ続けて、内容としては3-0以上のものを見せてくれました。最後の決定戦の相手が神奈川だったことは、チームにとってはラッキーで、選手たちは集中できたのだと思います。また、2回とも勝たなければならないという状況も、チームにとってはプラスとなり、目の前の試合に集中することができたと思います。

トレセンリーグは勝てないままでしたが、3試合の中で、徐々によくなっていくのを感じ取ることができました。特に3戦目の群馬戦は、勝てる試合で引き分けたのですが、チームらしくなった試合でした。また見ていて思ったのは、後半の途中からガクッと体力が落ちるということでした。これはトレセンリーグが45分ハーフだからでしょう。逆に35分ハーフの関ブロでは体力が落ちることなく、力を出せるだろうと思っていました。ですから、90分を持たせるよりも、途中でダメになってもいいから、どこまでいけるかをチャレンジするよう指導しました。フィジカル、精神力など様々なものが厳しい中での精度を求めたのです。結果、各チームでの努力もあったのでしょう。体力が落ちることはありませんでした。

さて、関東は関東で大変ですが、全国には全国の戦い方があります。全国大会に出場することで、国体の重み、県代表としての責任も知ってもらえると思います。ここで満足してもらっても困ります。ずば抜けて攻撃が面白いわけでもありません。ただ、ボールを持った選手を中心に攻撃を仕掛け、奪われたら全員でまた奪いに行くというサッカーを続けているだけです。本大会では対戦相手に合わせることなく、このチームらしさを出させたいと思っています。どのチームにも優勝するチャンスはあると思っています。応援、よろしくお願いします。

●関東トレセンリーグ

第1節 4月24日 神奈川県 4-1 埼玉県
第2節 5月22日 千葉県 3-1 埼玉県
第3節 7月18日 埼玉県 1-1 群馬県

少年男子 関東ブロック大会

監督	名取 篤	浦和レッドダイヤモンズ
1 GK	吉野 雅大	浦和レッズユース
2 DF	細田 真也	浦和レッズユース
3 DF	宮崎 博貴	大宮アルディージャユース
4 DF	齋藤 一穂	浦和レッズユース
5 DF	川又 悠史	西武台高校
6 MF	澤井 直人	東京ヴェルディユース
7 MF	中家 亮	大宮アルディージャユース
8 MF	大山 啓輔	大宮アルディージャユース
9 FW	小沢 佑太	大宮アルディージャユース
10 FW	関根 貴大	浦和レッズユース
11 FW	進 昂平	浦和レッズユース
12 GK	関口 亮助	浦和レッズユース
13 MF	白川 竜義	大宮アルディージャユース
14 MF	広瀬 陸斗	浦和レッズユース
15 DF	森 亮太	浦和レッズユース
16 MF	須藤 岳晟	浦和レッズユース

●「浦和東 2 年ぶり 7 度目の栄冠」

平成23年度全国高等学校総合体育大会埼玉県予選を振り返って

東京成徳大学深谷高校 為谷 洋介

5月14日から6月26日にかけて、平成23年度全国総合体育大会埼玉県予選が開催された。プリンスリーグ参加3校(武南・浦和東・西武台)、関東大会参加2校(市立浦和・伊奈学園)、また各地区から勝ち上がった42校を合わせて47校によるトーナメント方式によりおこなわれ、優勝は浦和東、準優勝は武南、3位に浦和南と伊奈学園という成績で終わった。この結果、浦和東が2年ぶり7度目、武南は10年ぶり18度目のインターハイへの切符を手にした。

優勝した浦和東は、サイドチェンジを有効に使い相手を揺さぶりシュートまで持ち込むのが特徴で、セットプレーに自信を持ったチームである。一方、武南は、運動量で相手を上回る機動力サッカーで、波状攻撃が特徴である。3位の浦和南は、試合ごとに強いまとまりを見せ、強豪2校をPK戦の末に破って準決勝まで駒を進めた。準決勝では浦和東に先制するが追いつかれ、延長までもつれたがセットプレーで失点し、涙を飲んだ。同じく3位の伊奈学園は、準々決勝で、関東大会準優勝の市立浦和を2-0で破り、準決勝では武南に前半1-1で折り返すも、後半足が止まり武南の猛攻を受け準決勝で破れた。

大会を振り返り、技術・戦術的に見ると攻撃面において、やみくもに判断無しでフロントコートに放り込む場面は少なくなり、全体的にはパスをつないで攻撃を組み立てようとする姿勢は見られたが、ポゼッションのみのチームと、前に急ぎスピードになりすぎてボールを失うシーンや、ボールがつながってもフィニッシュが難になるシーンが多く見られた。

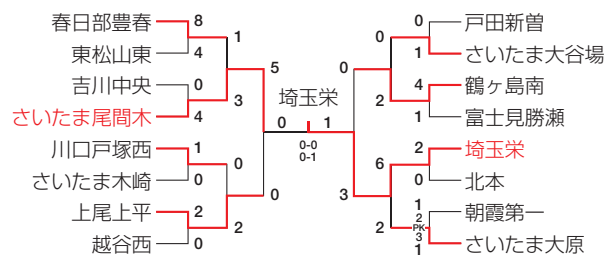
守備面においては、自陣ゴール前においてボールウォッチャーになってしまうシーンが見られ、ラストパスの精度が高いチームと対戦すると簡単にゴールを奪われてしまうことが多いように感じた。守備におけるポジション取りも含めて、状況を観る力が欠落しているように感じた。

全体を通して「個」のスキルアップと「観る力」のレベルアップが必要であるように感じた。まだまだ、伸ばせることであり、追求すべく内容である。特に「観る力」は「見る」ではなく、洞察力が含まれてくる。ゲームを「観る力」は「読む力」を養うことが必要と思われる。大会を通して、5月の第2週から始まった予選は、U18ユースリーグと並行して行われ、2週続けて同じ対戦相手と試合をするなど、選手起用の面や、グラウンドコンディションによる戦術的な部分での対策、メンタル的な部分でのタフさが必要であった。それらの部分で指導者の先を読む力、選手の気持ちの上げ方、維持が器用にできたチームが上位に進出していたように思う。

最後にインターハイ本戦に出場する2校は、守備にまわる時間が長くなるゲームもあるかもしれないが、試合の中で色々なことを想定しながら、よい準備をして大会に臨んでほしい。

平成23年度学校総合体育大会中学校サッカーの部

7月16日～29日 川越陸上競技場他



※優勝した埼玉栄中とさいたま尾間木中は関東大会に出場する



決勝 埼玉栄 vs さいたま尾間木

女子

埼玉県女子1部リーグ

●9月4日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	大東文化大学	7	0	0	36	3	+33	21
2	エルフェンマリ	6	0	2	31	13	+18	18
3	上福岡女子SC	5	0	2	26	13	+13	15
4	花咲徳栄高校	4	0	4	17	22	-5	12
5	戸木南ボンバーズFC	2	0	5	13	25	-12	6
6	FC.JAM-G	2	0	4	9	23	-14	6
7	大宮FCエンジェルス05	1	0	1	4	2	+2	3
8	白岡SCL U-15	0	0	8	3	38	-35	0

第31回埼玉県女子サッカー大会 兼

第33回関東・全日本女子サッカー選手権大会予選

5月22日～7月17日 大東文化大学グラウンド他

●代表決定戦

大東文化大学 (一般1位) 5-0 本庄第一高校 (高校1位)

※大東文化大学は関東大会に出場する



決勝 大東文化大学 vs 本庄第一高校

3種

第4回埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ

●9月11日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	クマガヤSC	8	1	0	36	7	+29	25
2	アレグレ	6	1	1	18	10	+8	19
3	フェスタ	4	2	1	14	5	+9	14
4	坂戸ディプロマツ	3	3	2	16	12	+4	12
5	大宮FC	3	3	2	15	14	+1	12
6	KASUKABE	3	1	4	13	17	-4	10
7	武南ジュニア	2	1	5	7	16	-9	7
8	豊春中	1	0	4	7	17	-10	3
9	三郷ジュニア	1	0	6	1	17	-16	3
10	カムイジュニア	0	2	6	2	14	-12	2

第31回埼玉県女子サッカー大会(レディースの部) 兼 第23回関東・全国レディースサッカー大会予選

6月26日 上里宮グラウンド

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	FC B.B	2	0	0	5	0	+5	6
2	北坂戸レディース	1	0	1	1	3	-2	3
3	上里女子FCパワーズ	0	0	2	0	3	-3	0

※FC B.Bと北坂戸レディースは8月に関東大会に出場する

第7回埼玉県女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 兼 第15回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会予選

6月26日～8月28日 武蔵丘短期大学グラウンド他

浦和レッズレディースユース	19	9						
FC JAM-G	0		3					
久喜高校	7	0		1				
浦和ラッキーズFC	0			1				
本庄第一高校	6				6			
白岡SCL	0	1						
エルフェン狭山マリ	2	2						
入間向陽高校	1							

※優勝は浦和レッズレディースユース



決勝 浦和レッズレディースユース vs 本庄第一高校

第20回少女サッカー埼玉カーニバル

6月19日 さいたま市中央区八王子公園サッカー場

西鶴間SC (神奈川)	0	6						
埼玉県南部地区トレセン	6		6					
南大沢FC (東京)	1		1					
埼玉県東部地区トレセン	4	4	1					
パティF.C. (東京)	1			1				
埼玉県北部地区トレセン	0				3			
松戸F.C. (千葉)	2	9	10					
埼玉県西部地区トレセン	0	2						

第9回関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会埼玉県予選 決勝大会

7月9日、10日 杉戸町西仮グラウンド

東大宮エンジェルス	0	5	6					
菁莪キッカーズ女子	2		2					
戸南ボンバーズ	2	0						
TSガールズ	1							

※菁莪キッカーズは6年ぶり2度目の優勝。上位4チームが本大会に出場する

シニア

シニア40南部リーグ

●8月28日現在

順位	チーム名	勝点	得失差
1	所沢バッカーズ	29	+25
2	越谷シニアサッカークラブ	25	+15
3	新明サッカークラブ	25	+11
4	FC浦和シニア	23	+8
5	パルスフットボールクラブ	20	+13
6	コイコック	19	+10
7	NTTシニア	17	±0
8	川口シニアフットボールクラブ	16	+5
9	川越シニアサッカークラブ	16	-3
10	蕨シニアサッカークラブ	14	-4
11	東春'72シニア	13	-5
12	戸田シニアサッカークラブ	13	-8
13	鴻巣UNITED	12	-18
14	与野シニアフットボールクラブ	8	-9
15	大宮シニアフットボールクラブ	7	-10
16	セルフィッシュ	4	-15
17	八潮シニア	1	-18

シニア40北部リーグ

●7月31日現在

順位	チーム名	勝点	得失差
1	東松山オールドパワーズ	33	+37
2	VAMOS鳩山	30	+27
3	本庄アイベックス	25	+15
4	秩父四十雀サッカークラブ	22	+11
5	熊谷ブーメラン	21	+4
6	児玉四十雀サッカークラブ	17	+7
7	クマガヤSC	14	-6
8	深谷SFCフェニックス	13	-1
9	セントラル蹴毬団	12	-1
10	東松山ベレーニア	11	-6
11	小鹿野パピーユナイテッド	9	-8
12	行田グレイトティッド	8	-9
13	小川スパーサーユナイテッド	8	-18
14	寄居四十雀サッカークラブ	8	-34
15	吉見エスカーラFC	7	-11
16	ジョイファーストめぬま	5	-7

シニア50サッカーリーグ1部

●1stステージ終了時

順位	チーム名	勝点	得失差
1	NTTシニア50	20	+17
2	パルスFC	19	+12
3	所沢バッカーズ	18	+11
4	市高クラブ	17	+7
5	与野シニアFC	12	-1
6	東松山ベレーニア	12	-1
7	深谷SFCフェニックス	11	-6
8	川口シニアFC	8	-7
9	鴻巣ユナイテッド	5	-14
10	川越シニアFC	3	-18

シニア50サッカーリーグ2部

●1stステージ終了時

順位	チーム名	勝点	得失差
1	東松山オールドパワーズ	22	+19
2	本庄アイベックス	20	+12
3	東春'72シニア	18	+18
4	FC浦和シニア	16	+2
5	越谷シニアSC	14	+5
6	熊谷ブーメラン	13	+1
7	蕨シニアSC	8	-3
8	熊谷セントラル蹴毬団	6	-12
9	大宮シニアFC	5	-16
10	戸田シニアSC	2	-24

シニア60リーグ

●9月11日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	サウスフレンズ	13	4	1	1	8	4	+4
2	パルス・US	11	3	2	1	9	3	+6
3	ボラリス	11	3	2	1	4	2	+2
4	浦所チーム	8	2	2	2	8	5	+3
5	FSC	7	2	1	3	8	4	+4
6	KMO	0	0	0	6	0	19	-19

65リーグ

●9月11日現在

サクラ 6勝0敗

ケヤキ 0勝6敗

ロイヤルリーグ

●9月11日現在

サクラ 4勝1分1敗

ケヤキ 1勝1分4敗

フットサル

2011年度第11回埼玉県フットサルリーグ1部

●8月21日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	IMPERIO	5	0	0	19	7	+12	15
2	烏天狗	3	1	0	24	17	+7	10
3	pal'u:wo	3	1	2	25	25	±0	10
4	ロクFC	2	1	1	17	11	+6	7
5	マカブ〜	2	1	2	18	16	+2	7
6	坂戸龍門	2	0	3	16	19	-3	6
7	FFC Estrela	1	2	1	14	14	±0	5
8	Mf	1	1	3	12	21	-9	4
9	THOMAS FC	1	0	4	14	22	-8	3
10	ra'pido	0	1	4	15	22	-7	1

2011年度第8回埼玉県女子フットサルリーグ

●9月4日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	SAICOLO	6	0	0	48	1	+47	18
2	dolce de donna	5	0	1	29	9	+20	15
3	武蔵浦和FC	4	1	1	27	15	+12	13
4	FUKAYA	3	1	2	13	14	-1	10
5	り〜すなぶる	1	1	3	3	16	-13	4
6	GRANDE	1	1	4	9	23	-14	4
7	chechio	0	2	4	4	20	-16	2
8	I.F.C/ems	0	0	5	3	38	-35	0

第8回全日本女子フットサル選手権大会 2011 埼玉県大会

7月23日〜30日 三芳町総合体育館メインアリーナ

●決勝トーナメント

武蔵丘シエンシア	2	4	武蔵丘シエンシア
Aventura	1		
dolce da donna	0		
SAICOLO	4		

※優勝した武蔵丘短大シエンシアは9月の関東大会に出場する

大会記録●県外大会

1種・社会人

関東社会人リーグ1部

●9月11日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	NPO横浜スポーツ&カルチャークラブ	10	1	1	24	6	+18	31
2	さいたまSC	8	0	4	24	18	+6	24
3	流通経済大学FC	6	1	5	25	16	+9	19
4	FC KOREA	6	1	5	22	18	+4	19
5	ヴェルフェたかはら那須	5	2	5	19	23	-4	17
6	tonan前橋	4	2	6	18	20	-2	14
7	神奈川県教員SC	4	0	8	22	29	-7	12
8	東邦チタニウムサッカー部	1	1	10	9	33	-24	4

関東社会人リーグ2部

●9月11日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	エリースFC東京	8	2	2	25	11	+14	26
2	SC相模原	8	1	3	35	10	+25	25
3	クラブ・ドラゴンズ	7	1	4	19	12	+7	22
4	横浜猛蹴	7	0	5	27	21	+6	21
5	日立ビルシステムサッカー部	4	1	7	14	25	-11	13
6	東京海上日動火災保険	4	0	8	16	26	-10	12
7	海上自衛隊厚木基地マーカス	3	3	6	13	24	-11	12
8	ACアルマレッザ	2	2	8	14	34	-20	8

第47回全国社会人サッカー選手権大会 関東予選

6月26日〜7月10日 各地

グループA ホンダルミノッソ狭山 1-0 東京海上日動火災保険

ホンダルミノッソ狭山 0-9 流通経済大学FC

グループB 坂戸シティー 1-0 ACアルマレッザ

坂戸シティー 1-2 Y.S.C.C

グループC さいたまSC 1-6 S.C. 相模原

グループE バイオニア川越 4-1 grato

バイオニア川越 1-1 ヴェルフェたかはら那須
(9PK8)

バイオニア川越 2-0 日立ビルシステム

※バイオニア川越は、関東代表として本大会に出場する

2種・高校

平成23年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会

7月28日〜8月3日 秋田・八橋運動公園陸上競技場他

1回戦 武南 1-0 青森山田

2回戦 浦和東 2-3 初芝橋本

武南 2-5 神村学園

※優勝は桐蔭学園



1回戦 武南高校 vs 青森山田高校



2回戦 浦和東高校 vs 初芝橋本高校



高校総体 2 回戦 武南高校 vs 神村学園高校

2 種・クラブ

日本クラブユース選手権(U-18)関東大会

6月26日、27日

●二次リーグ

順位	Aグループ	勝点	得失差	順位	Bグループ	勝点	得失差
1	浦和レッズ	13	+14	1	東京ヴェルディ	12	+17
2	横浜FC	11	+11	2	大宮アルディージャ	12	+12
3	千葉SC	8	+3	3	湘南ベルマーレ	9	+11
4	ジェフ市原千葉	7	+9	4	栃木SC	9	+4
5	ザスパ草津	3	-11	5	杉並SC	1	-14
6	常総アイデンティ	0	-26	6	浦安JSC	1	-30

●決勝トーナメント

1～4 位決定戦

浦和レッズ 0-2 FC東京

浦和レッズ 1-0 東京ヴェルディ

※浦和レッズは第3代表として本大会に出場する。1位は鹿島アントラーズ。

5～8位決定戦 大宮アルディージャ 2-3 川崎フロンターレ

大宮アルディージャ 3-2 横浜FC

※大宮アルディージャは第7代表として本大会に出場する。

adidas CUP 2011

第35回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

7月22日～31日 ニッパツ三ツ沢球技場他

●1次ラウンド

順位	Aグループ	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	浦和レッドダイヤモンズユース	2	1	0	11	1	+10	7
2	大宮アルディージャユース	1	2	0	4	2	+2	5
3	ジュビロ磐田U-18	1	1	1	2	7	-5	4
4	ベガルタ仙台ユース	0	0	3	2	9	-7	0

●決勝トーナメント

準々決勝

浦和レッズ 0-5 東京ヴェルディ

※優勝は東京ヴェルディ

高円宮杯U-18サッカーリーグ2011 プレミアリーグイースト

●9月11日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	コンサドーレ	23	12	6	5	1	28	13	+15
2	ヴェルディ	20	12	5	5	2	27	19	+8
3	浦和レッズ	19	12	6	1	5	26	17	+9
4	青森山田高校	18	12	5	3	4	24	21	+3
5	静岡学園高校	15	12	3	6	3	20	18	+2
6	流経大付柏高校	15	12	4	3	5	19	21	-2
7	エスパルス	14	12	3	5	4	18	23	-5
8	三菱養和	13	11	3	4	4	13	20	-7
9	FC東京	12	12	2	6	4	13	15	-2
10	尚志高校	8	11	2	2	7	13	34	-21

高円宮杯U-18サッカーリーグ2011 プリンスリーグ関東 1部リーグ

●9月11日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	鹿島アントラーズFCユース	25	11	8	1	2	25	8	+17
2	桐蔭学園高校	22	11	7	1	3	24	17	+7
3	大宮アルディージャユース	20	11	6	2	3	22	18	+4
4	桐光学園高校	18	11	5	3	3	14	14	±0
5	ジェフユナイテッド市原・千葉U-18	16	11	5	1	5	24	19	+5
6	前橋育英高校	14	11	4	2	5	13	16	-3
7	市立船橋高校	13	11	4	1	6	17	19	-2
8	横浜F・マリノスユース	12	11	3	3	5	15	17	-2
9	八千代高校	10	11	3	1	7	12	23	-11
10	成立学園中学・高校	7	11	2	1	8	14	29	-15

高円宮杯U-18サッカーリーグ2011 プリンスリーグ関東 2部リーググループA

●9月11日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	佐野日本大学高校	16	9	5	1	3	17	8	+9
2	山梨学院大学附属高校	16	9	5	1	3	25	18	+7
3	湘南ベルマーレユース	15	9	4	3	2	15	10	+5
4	駒澤大学高校	13	9	4	1	4	17	15	+2
5	西武台高校	11	9	2	5	2	9	9	±0
6	幕張総合高校	10	9	3	1	5	7	14	-7
7	水戸商業高校	10	9	3	1	5	12	25	-13
8	浦和東高校	9	9	2	3	4	13	16	-3

2部リーググループB

●9月11日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	柏レイソルU-18	27	9	9	0	0	27	3	+24
2	川崎フロンターレU-18	20	9	6	2	1	18	6	+12
3	武南高校	16	9	5	1	3	21	15	+6
4	鹿島学園高校	11	9	3	2	4	9	18	-9
5	桐生第一高校	8	9	2	2	5	12	16	-4
6	麻布大学附属刈野辺高校	8	9	2	2	5	16	22	-6
7	真岡高校	6	9	1	3	5	9	17	-8
8	矢板中央高校	4	9	0	4	5	4	19	-15



プリンスリーグ 浦和東 vs 水戸商



プリンスリーグ 浦和東 vs 西武台



プリンスリーグ 西武台 vs 駒大高



プリンスリーグ 武南 vs 川崎F

3種

2011年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ Division 1

●9月11日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	柏レイソルU-15	5	0	1	29	4	+25	15
2	大宮アルディージャJY	4	2	0	14	6	+8	14
3	浦和レッドダイヤモンズJY	4	2	0	15	10	+5	14
4	FC東京U-15深川	3	2	1	16	10	+6	11
5	東京ヴェルディJY	3	0	3	12	8	+4	9
6	横浜F・マリノスJY	2	2	2	5	6	-1	8
7	三菱養和SC巣鴨JY	2	1	3	11	16	-5	7
8	鹿島アントラーズノルテ	1	3	2	8	11	-3	6
9	横浜F・マリノス追浜	2	0	4	5	12	-7	6
10	鹿島アントラーズFC JY	1	2	3	9	14	-5	5
11	前橋FC	1	1	4	4	18	-14	4
12	川崎フロンターレU-15	0	1	5	6	19	-13	1

2011年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ Division 2

●9月11日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	ジェフユナイテッド市原・千葉U-15	6	0	0	24	5	+19	18
2	横浜FC	5	0	1	20	8	+12	15
3	ヴァンフォーレ甲府JY	4	1	1	18	12	+6	13
4	FC 古河JY	3	1	2	17	11	+6	10
5	湘南ベルマーレJY	3	1	2	15	12	+3	10
6	WINGS U-15	3	0	3	16	18	-2	9
7	AZ '86 東京青梅	3	0	3	9	7	+2	9
8	GRANDE FC	2	2	2	7	9	-2	8
9	柏イーグルスTOR '82	1	2	3	6	13	-7	5
10	ヴェルディSS小山	1	1	4	6	15	-9	4
11	図南群馬SC	1	0	5	14	18	-4	3
12	フォルトゥナSC	0	0	6	4	28	-24	0

関東中学校サッカー大会

8月7日～10日 江戸川陸上競技場他

- 1 回戦 埼玉栄中 2 - 1 古河市立古河第一中
 荏崎市立荏崎東中 0 - 1 さいたま市立尾間木中
 準々決勝 埼玉栄中 3 - 1 新島学園中
 鹿嶋市立鹿島中 0 - 4 さいたま市立尾間木中
 準決勝 暁星中 1 - 1 埼玉栄中 (4PK 2)
 さいたま市立尾間木中 1 - 3 多摩大目黒中

※優勝は暁星中学校。埼玉栄、尾間木とも3位で本大会に出場する

平成23年度全国中学校体育大会 第42回全国中学校サッカー大会

8月19日～23日 布引グリーンスタジアム他

- 1 回戦 東海大付属翔洋高等学校中 1 - 0 埼玉栄中
 岩国市立麻里布中 0 - 0 さいたま市立尾間木中 (9PK 8)

※優勝は星稜中学校(石川県)

第17回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

6月25日～7月17日 河口湖サッカー場他

- 1 回戦 フォルチFC 1 - 3 横浜F・マリノス
 FC深谷 2 - 0 栃木SC
 大宮アルディージャ 2 - 1 ジェファFC
 1 FC川越水上公園 1 - 7 柏レイソル
 GRANDE FC 1 - 1 FC明浜 (4PK 5)
 クマガヤSC 4 - 3 BANFF横浜ベイ
 HAN FC 0 - 4 東京ヴェルディ
 浦和レッズ 4 - 0 帝京FC
 クラブ与野 2 - 4 図南SC
 2 回戦 FC深谷 0 - 3 大宮アルディージャ
 クマガヤSC 2 - 0 前橋FC
 浦和レッズ 3 - 6 ヴァンフォーレ甲府
 3 回戦 大宮アルディージャ 1 - 1 横浜FC (5PK 4)
 クマガヤSC 2 - 1 東京ヴェルディ
 準々決勝 大宮アルディージャ 3 - 4 柏レイソル
 クマガヤSC 1 - 2 FC東京むさし

※大宮アルディージャは第5代表、クマガヤSCは第8代表として本大会に出場する。優勝は柏レイソル

adidas CUP 2011

第26回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月14日～23日 帯広の森陸上競技場他

●1次ラウンド

順位	Aグループ	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	京都サンガF.C. U-15	3	0	0	11	0	+11	9
2	大宮アルディージャジュニアユース	2	0	1	10	2	+8	6
3	M.A.C. SALTO ジュニアユース	0	1	2	2	11	-9	1
4	ハジャスFC	0	1	2	2	12	-10	1

順位	Hグループ	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	コンサドーレ札幌U-15	3	0	0	7	1	+6	9
2	名古屋グランパスU-15	1	0	2	3	3	±0	3
3	セレッソ大阪U-15	1	0	2	2	4	-2	3
4	クマガヤサッカースポーツクラブ	1	0	2	2	6	-4	3

●決勝トーナメント

ラウンド16 清水エスパルス 3-0 大宮アルディージャ

※優勝は清水エスパルス

4種

第35回全日本少年サッカー大会決勝大会

8月2日～6日 愛鷹広域公園多目的競技場他

●1次ラウンド

順位	Aグループ	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	大宮アルディージャジュニア	3	0	0	17	3	+14	9
2	福山ローザス・セレソン	2	0	1	6	10	-4	6
3	嘉数小JFC (沖縄)	1	0	2	10	9	+1	3
4	リベロ津軽SC	0	0	3	4	15	-11	0

●2次ラウンド

順位	Aグループ	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	大宮アルディージャジュニア	2	0	0	4	2	+2	6
2	あざみ野FC	1	0	1	5	3	+2	3
3	SALFUS oRs (静岡)	0	0	2	0	4	-4	0

●決勝ラウンド

準々決勝 大宮アルディージャ 1-0 Uスポーツクラブ

準決勝 大宮アルディージャ 1-3 名古屋グランパス

※優勝は柏レイソル

第35回関東少年サッカー大会

8月20日、21日 那須塩原市青木サッカー場他

●予選リーグ

順位	A組	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	市川IFC	2	0	0	5	1	+4	6
2	越谷サンジサッカースポーツ少年団	1	0	1	4	2	+2	3
3	JAA F.C. 甲斐CIELOジュニア	0	0	2	0	6	-6	0

順位	D組	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	NEOS Football Club	1	1	0	5	2	+3	4
2	鹿島アントラーズつくばジュニア	1	1	0	3	2	+1	4
3	前橋エコークラブ	0	0	2	2	6	-4	0

順位	F組	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	横浜F・マリノスプライマリー	2	0	0	9	1	+8	6
2	アラジン	1	0	1	3	7	-4	3
3	豊春サッカークラブ	0	0	2	0	4	-4	0

●1位パート 順位トーナメント

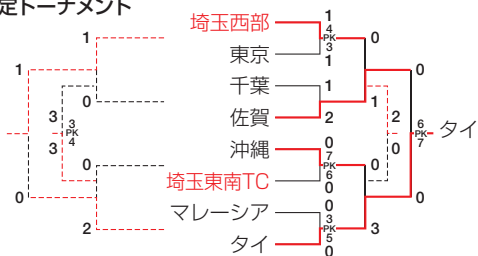
1回戦 NEOS FC 0-2 バディー SC

※NEOS FCは5位

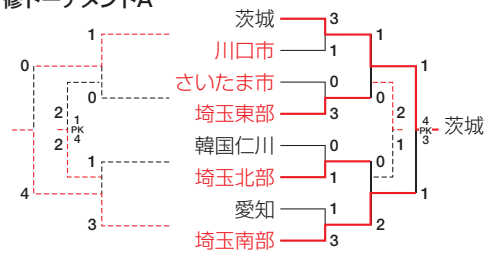
埼玉国際ジュニアサッカー大会2011

7月22日～24日 埼玉スタジアム2002 他

●優勝決定トーナメント



●交流研修トーナメントA



●交流研修トーナメントB



※優勝はタイ王国。3位 埼玉県西部、7位 埼玉東南TC、10位 埼玉県南部、11位 埼玉県東部、12位 埼玉県北部、14位 川口市、16位 さいたま市、20位 埼玉西北TC



女子

プレナスなでしこリーグ

● 8月14日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	差
1	I神戸	24	8	8	0	0	31	2	+29
2	日テレ	16	8	5	1	2	16	6	+10
3	新潟L	14	8	4	2	2	16	11	+5
4	湯郷ベル	13	8	3	4	1	9	8	+1
5	ジェフL	13	8	4	1	3	10	10	±0
6	浦和	11	8	3	2	3	12	10	+2
7	伊賀FC	4	8	1	1	6	3	13	-10
8	福岡AN	4	8	1	1	6	5	26	-21
9	AS狭山	3	8	1	0	7	11	27	-16

第17回 関東女子サッカーリーグ

● 7月31日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
1	早稲田大学	11	0	1	43	7	+36	33
2	関東学園大学	8	2	2	20	7	+13	26
3	武蔵丘短期大学	7	1	4	29	18	+11	22
4	日テレ・メニーナ	6	1	5	21	10	+11	19
5	浦和レッズJr.Y	4	3	5	10	16	-6	15
6	FC PAF	5	0	7	12	27	-15	15
7	尚美学園大学	1	2	9	10	36	-26	5
8	筑波大学	0	3	9	1	25	-24	3

第23回関東レディースサッカー大会 兼

第23回全国レディースサッカー大会関東地区予選大会

8月27日、28日 神奈川・稲荷山運動公園多目的広場サッカー場

- 1回戦 横須賀シーガルズレディース 1 - 0 北坂戸レディス
FC.BB 1 - 0 FC フロンティア
2回戦 FC.BB 1 - 1 FC マミーズ
(5PK4)
準決勝 FC.BB 1 - 0 FC フロンティア
決勝 FOOT CRUSADERS 0 - 4 FC.BB

※FC.BB(埼玉県第1代表)は初優勝。上位3チームが本大会に出場する。

第20回関東高等学校女子サッカー選手大会 兼

第20回全日本高等学校女子サッカー選手権大会予選

6月11日～19日 太田市陸上競技場他

- 1回戦 浦和西 1 - 1 太田女子
(3PK1)
藤沢清流 2 - 0 埼玉平成
健大高崎 1 - 0 久喜
伊勢原 2 - 3 花咲徳栄
2回戦 十文字 3 - 0 浦和西
成学学園 3 - 0 本庄第一
花咲徳栄 0 - 3 日本航空

※優勝は晴海総合高校。上位7校が本大会に出場する

第16回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼

第16回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会関東予選

6月25日～7月3日 尾瀬花咲人工芝グラウンド他

● 予選リーグ

順位	Aブロック	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	ジェフレディースU-16	2	1	0	4	1	+3	7
2	大和シルフィード98	2	0	1	2	1	+1	6
3	大宮FCエンジェルス	1	1	1	2	1	+1	4
4	FC.ベルタ	0	0	3	1	6	-5	0

順位	Bブロック	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	浦和レッズレディースJY	3	0	0	8	1	+7	9
2	栃木SCレディース	2	0	1	5	2	+3	6
3	修徳中学校	1	0	2	2	8	-6	3
4	KASHIMA-LSC	0	0	3	3	7	-4	0

順位	Dブロック	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	Y.S.C.C.コスモス	3	0	0	9	1	+8	9
2	十文字中学校	1	1	1	5	4	+1	4
3	ザスパ草津レディース	0	2	1	1	3	-2	2
4	白岡SCL	0	1	2	0	7	-7	1

● 決勝トーナメント

- 1回戦 浦和レッズレディースJY 3 - 0 横須賀シーガルズJOY
準決勝 ジェフレディースU-16 0 - 1 浦和レッズレディースJY
決勝 浦和レッズレディースJY 2 - 0 スフィーダ世田谷FC

※上位4チームが本大会に出場する

第16回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

8月8日～12日 J-GREEN堺スタジアム他

グループA

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	浦和レッズレディースJY	2	1	0	7	2	+5	7
2	藤枝順心サッカークラブJYブルー	2	0	1	3	4	-1	6
3	宝塚エルバイレLFC	0	2	1	2	3	-1	2
4	FCみやぎ	0	1	2	1	4	-3	1

● 決勝トーナメント

- 1回戦 浦和レッズレディースJY 5 - 1 セレッソ大阪レディースU-15
決勝 浦和レッズレディースJY 0 - 0 アルビレックス新潟レディースU-18
(4PK3)

※浦和レッズレディースJYは4年連続4度目の優勝

第9回JFA関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会

8月21日、22日 草津町営総合運動場他

順位	グループAリーグ	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
2	TSガールズ	8	2	2	0	3	1	+2

順位	グループBリーグ	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
2	戸木南ボンバーズFC	7	2	1	1	11	4	+7

順位	グループCリーグ	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	東大宮エンジェルス	12	4	0	0	9	0	+9

順位	グループDリーグ	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	白岡・菁莪キッカーズ	13	4	1	0	11	0	+11

※菁莪キッカーズと東大宮エンジェルスがグループ優勝。戸木南ボンバーズと初出場のTSガールズはグループ準優勝。

フットサル

全日本大学フットサル大会 2011 関東大会

7月24日 館山スポーツ公園体育館

- 1回戦 立教大学RCC 2 - 5 東京経済大学Bruja
※優勝は順天堂大学GAZIL

ビーチサッカー

第6回全国ビーチサッカー大会 2011 関東大会

7月9日 ひたちなか市阿字ヶ浦海岸

● 予選リーグ

- レッドグラントFC 2010 6 - 2 FC ブラジリア
レッドグラントFC 2010 1 - 5 ボンファム
浦和レッズレディースJY 2 - 0 スフィーダ世田谷FC

※優勝した東京レキオスBSは全国大会に出場する

インフォメーション

●施設委員会より

埼玉県サッカー協会東松山サッカー場について

2003年6月に完成し、指導者養成、トレセンなどで皆さんに親んでもらっている県協会の東松山サッカー場ですが、改めて名称を「埼玉県サッカー協会東松山サッカー場」とさせていただきます。今後、関係者の皆さんには表記の統一をお願いします。開催する事業については、責任者を明らかにし、要項などにはその連絡先を明記し、問い合わせに対応してください。特に予想される観戦者に対しては、周知徹底をお願い致します。

また、使用上のマナー向上をお願いします。自分で出した飲食物のゴミは持ち帰って処分していただきますようお願いいたします。駐車場にタバコの吸い殻を捨てないようお願いいたします。この8月からサッカー場においては禁煙となったことをご理解ください。

引き続き、このサッカー場を維持していくためには、関係者だけではなく、一般の皆さんの協力も不可欠です。いい環境で選手、指導者、審判が学び続けられるよう、よろしく願います。

追記 10月1日から12月28日までの当面の間、夜間照明の使用が可能になりました。ご利用ください。

●医事委員会より

サッカー中の突然死の防止について～AEDの配備を

過日、JFL 松本山雅の松田直樹選手が練習中に倒れ、病院に搬送されましたが治療の甲斐なく亡くなりました。一般的にスポーツ中の突然死の90%は心臓死、更にはそのうちの90%が、倒れるときには心室細動を起こしているのです。そしてこの心室細動は心臓マッサージ（最近では胸骨圧迫と言うようになっていきます）では解除できず、唯一の救命手段はAEDであると言われています。ぜひとも、各チームが1台ずつ所有して事故に備えたいものです。

●リスペクトFC JAPAN部員募集

2008年から始まった「リスペクトプロジェクト」の参加型の場ができました。9月3日より、「リスペクトFC JAPAN」部員の募集が始まっています。

入部は簡単です。JFAのホームページからリスペクトFC JAPANのホームページ (<http://www.respectfc.jp/>) に飛んでいただければ、入部案内が出てきます。「クラブ員には、行動で示すこと、仲間を増やすことを、日常の活動において意識していただきたい」（設立趣旨より）

サッカーに関係無く、できるだけ多くの方に参加をお願いしています。今日から、仲間に加わりませんか！



●『瑞鳥(すいう)』～JFA 90周年にあたり～

JFAは本年90周年を迎えるにあたり、これを記念し、日本画家の今井珠泉先生という方から『瑞鳥(すいう)』という素晴らしい作品を頂戴して、JFAハウスの正面玄関に飾っています。この作品はJFAのシンボルマークにも使われている三本足の鳥をモチーフにした30号(90.9cm×65.1cm)の大作で、三本足の鳥が太陽を背にし



八咫鳥絵画

編集後記

●FIFAフェアプレーデーに合わせ、9月3日にリスペクトFC JAPANが設立された。折しも前日の北朝鮮戦で試合後日本チームが震災の横断幕をもって場内を一周し、北朝鮮サポーターの前を通過するときに北朝鮮サポーターが最前列に集合し拍手を送っていた。これぞまさにリスペクトではないだろうか。(高橋)

●地震・津波・台風に遭遇した今年ですが、実りの秋になり大小かわらず成果が現れることに期待しています。(坂庭)

●ゴーヤのグリーンカーテン、大成功！ 実もたくさんりました！ 植物に癒され…来年はもっとベランダに緑を増やしたいと思いました。(こいち)

●ついこの間まで1年はまだまだ長いと思っていたつもりなのに、時は過ぎてもう9月！ 今年の残りを数えた方が早くなってしまいました……。やりたい事とやらないといけないう事は、急がないとダメですね！！(かのう)

●先日、リスペクトFC JAPANに入部しました。皆さんの力でまずは埼玉のサッカー、

て飛び立とうとしている姿が描かれています。画題の「瑞」というのはめでたさを表す言葉で、創立90周年の記念として寄贈していただきました。SFAにもレプリカが送られております。ご来所の際には、専務理事室でご覧ください。

●日本代表、劇的な勝利でワールドカップ3次予選の初戦を飾る

9月2日、埼玉スタジアムにおいて、2014年FIFAワールドカップブラジル大会アジア地区3次予選として、日本代表と朝鮮民主主義共和国が対戦しました。3次予選の初戦ということもあり、やや硬さの見られた日本代表でしたが、終了間際90+4分、ショートコーナーからDF吉田麻也(VVVフェンロ・オランダ)のヘディングシュートが決まり、辛くも、そして劇的な勝利を収めました。この初戦での成果を糧に最終予選に進んでもらいたいものです。

●天皇杯予定

2回戦

・10月10日(月)13時～ 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

大宮アルディージャ vs 福岡大学

・10月10日(月)13時～ 埼玉スタジアム

浦和レッズ vs 宮崎産業経営大学

※2011Jリーグヤマザキナビスコカップ準々決勝に出場するチームの試合は、12日19時から開催される(9月28日に決定予定)。

3回戦

・11月16日(水)19時～ NACK5スタジアム

大宮アルディージャ vs 福岡大学の勝者と

湘南ベルマーレ vs ファジアーノ岡山ネクストの勝者が対戦

・11月16日(水)19時～ 埼玉スタジアム

浦和レッズ vs 宮崎産業経営大学の勝者と

東京ヴェルディ vs V・ファーレン長崎の勝者が対戦

●4種リーグの後期が始まっています

5回目を迎えた「埼玉県4種リーグサッカー大会」が、県下各地で開催されています。現在は後期が始まっています。日程につきましては、SFAの公式ホームページから4種少年連盟のページをご覧ください。未来の子どもたちにエールを送ってください。

●高校サッカー選手権・二次予選予定

・リーグ戦…10月8日(土)、10日(月)、16日(日)

会場：浦和南高、伊奈学園高、昌平高、埼玉工大

・トーナメント1回戦…10月30日(日)

会場：西武台高、埼玉工大、東京国際大、立正大

・準々決勝…11月5日(土)、6日(日)

会場…熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

・準決勝…11月13日(日)

会場：NACK5スタジアム大宮

・決勝…11月20日(日)

会場：埼玉スタジアム2002

●JFA 90周年記念パーティーで表彰

90周年にちなみ、90歳以上で登録している現役選手が全国で5名、表彰されました。うち2名が埼玉の方で原田宏さん(92歳)と吉川五郎さん(91歳)でした。おめでとうございます。

そしてスポーツの価値を高めていきましょう！(小豆澤)

●先日IKEAに行ってきました！ オシャレなテーブルを買って、家に帰って置いてみると…テーブルの高さが高すぎた…何事も事前の確認は必要ですね(笑)。(佐々木)

●サッカーファンにとって最高の9月となりました。サムライブルーはW杯アジア3次予選対北朝鮮戦に勝利し、なでしこジャパンはロンドンオリンピックアジア最終予選を突破。この調子で「がんばれ日本」(栗島)